

群馬県立太田高等特別支援学校 学校評価一覧表② (令和3年度版)

(様式2)

羅 針 盤		関係する分掌	達成度			改善状況のまとめ	次年度の課題	
評価対象	評価項目		具体的数値項目	①	②			総合
I 生徒の地域における豊かな生活の実現に向けて努めていますか。	1 保護者、地域、関係機関に学校の教育活動について、具体的に伝えていますか。	①学校公開を年間4回実施し、来校者の90%以上が満足している。	教務企画	B	A	A	コロナ禍においても、学校公開に参加する対象者を「保護者」と「保護者以外」と分けることにより、密を防ぎ、2日間ずつ2回実施することができた。来校者向けアンケートでは、本校の教育活動を知ることができて良かったとの意見を多く頂戴した。	小中学校の先生や地域・事業所の方に授業の様子を参観していただくことで、本校の教育活動を理解していただけるように今後も努め、小中学校から本校、そして社会へとつながる教育支援の流れを構築していく。
		②Webページや学校からのたより等で情報発信を行い、保護者の90%以上が満足している。	情報管理	B	B	B	コロナ禍で学校行事や保護者の参加が制限される中、毎月発行する学年通信では、生徒の活動写真を多く載せ、学校の様子を分かりやすく伝えた。CMSを利用したWebページに移行することができた。	日本語を母語としない保護者や地域の方も理解できるような情報発信を心がける。Webページ担当と更新期日を明確にし、本校の最新情報が発信できるようにする。
	2 保護者、地域、関係機関との共通理解が深まり、有効な支援が行われていますか。	③「個別の教育支援計画」について、保護者の90%以上が内容に満足している。	学習	A	A	A	保護者が記入しやすいように例文を作成し配付した。昨年に引き続いて、面談を通して、生徒や保護者のニーズや実態把握をした上で支援計画を加筆修正し作成した。	「必要と思われる支援内容および合理的配慮」については保護者からの意見だけでなく、学校からの様子も加味しながら作成できるよう話し合いの場を設けるようにしていく。
		④交流及び共同学習について、年1回以上実施し、保護者や関係機関の90%以上が満足している。	交流教育				今年度も学校間交流・地域交流・公民館清掃を計画していたが、新型コロナウイルス感染防止のため、すべての交流行事が中止となってしまった。	校内Wi-Fi環境が整い、ICTの活用が充実してきたので、リモートでの交流ができるのではないかとと思われる。相手があることなので、本校の考えだけではなく、交流する相手と連絡を密にし、ベストな活動内容を検討していく。
II 地域の特別支援に関するセンター的な役割を果たしていますか。	3 障害のある幼児児童生徒の教育について、助言・援助に努めていますか。	⑤地域の高等学校等の求めに応じて相談・支援等を100%実施する。	コーディネーター	A	A	A	桐生市・太田市の公立高等学校を中心に訪問相談を実施することができた(12月までの訪問件数は、一昨年度209件、昨年度559件、今年度517件)。各高校の管理職、生徒指導主事、進路指導主事、学年主任等との連携も図ることができた。	件数の急増に伴い、激務となってしまった。相談記録の簡易化や校務分掌の見直し等で仕事量を調整していかないと高等学校等の求めに応じた相談・支援100%を維持できなくなる恐れがある。また、新型コロナウイルス感染症対策を強化していく。
		⑥学校参観日・相談日を中心に本校への来校者を積極的に受け入れ、来校者の90%以上が満足している。	コーディネーター	A	A	A	学校参観は、12月までの延べ参加者数が、昨年度134人、今年度160人であった。12月までの相談日の延べ相談者数は、昨年度57人、今年度39人であった。来校者の99%以上が満足していると回答した。1名のみ学校参観日の開催趣旨や説明の仕方等に対して学校説明は知らない、わかりづらい等の貴重なご意見をいただいた。	今後も、地域の小・中・特別支援学校に参観日や相談日の通知を文書とホームページで行う。密を防げるように参観日や相談日の参加状況をWebで随時公開していくなど、新型コロナウイルス感染症対策も万全を期するようにする。学校参観日の内容の改善を行い、ユニバーサルデザインの説明ができるよう工夫・改善を行う。
III 生徒一人一人の実態に応じた適切な指導をしていますか。	4 個に応じたきめ細かな指導を行っていますか。	⑦「個別の指導計画」の内容について保護者の90%以上が満足している。	学習	A	A	A	職員会議や研修等で職員の共通理解を徹底するために意義・作成方法について確認し、記入例や参考例も資料として作成した。保護者と個別面談を行い、目標設定や支援方法を策定した。	「個別の指導計画」においては、保護者との個別面談で丁寧な説明や話し合いを行い、明確な目標設定や支援方法を策定していく。保護者に分かりやすい表現に努める。
		⑧運営委員会、学年会等において生徒の情報交換を毎回実施し、全職員で必要な情報共有をしている。	生活指導	A	A	A	学年会の内容はその都度関係職員に周知され、運営委員会や職員会議に不在であった職員には協議内容や資料を確実に手渡すなど、職員間の情報共有は十分に行われた。	「何をどこまで情報として発信するべきか」という点に関して職員個々の情報発信力を高めていくための校内研修等を実施する。
		⑨生活習慣の定着を図るための家庭と学校が連携した取組に保護者の80%以上が満足している。	生活指導	B	B	B	昨年に引き続き、「あたりまえだけどこの10カ条」の項目毎に強化月間を設けて、その内容を学年だよりで紹介するとともに、校長通信などでも取り上げ、保護者への周知を図った。	現在の本校生徒の実態や社会情勢を踏まえて、10カ条の内容を見直し、必要があれば改定する。またその内容と日頃の学習活動を効果的に連携させるよう、個々の職員の意識向上を図る。
		⑩学校いじめ防止基本方針に基づいた本校の取組に対して、保護者の90%以上が満足している。	生活指導	A	A	A	「いじめの認知」に関わる本校の取り組みについて、保護者会などの機会に積極的に発信するとともに、いじめの早期発見に迅速につながるよう「生活アンケート」の内容を見直した。	LINEやオンラインゲームのチャット機能を利用した、ネット上でのいじめを防止するために、いじめ防止のための取り組みと同様に情報モラル教育にもいっそう注力していく。
	5 指導内容の確実な定着を図る授業が行われていますか。	⑪授業改善のための研究授業・授業研究会・研修会等を年間3回以上実施している。	教務企画	B	A	A	コロナ禍であることを前提とした計画を立てたことで、予定どおり外部講師を招き、校内研修を実施することができた。生徒理解やICTの具体的な活用など、本校教員の意識向上につながることができた。	さらに充実した研究授業・授業研究会・研修会等を継続して計画・実施し、その成果がこれからの授業実践に活用できるようにしていく。

IV 健康や安全の確保に努めていますか。	6 健康に関する配慮や対応を適切に行っていますか。	⑫生徒一人一人の健康上の配慮や対応について、保護者の90%以上が満足している。	保健指導	A	A	A	心臓疾患や代謝疾患、医ケア対象生徒については、生活管理表等に基づいて管理にあたり、必要に応じて保護者と連携し「個別の緊急時対応マニュアル」を策定した。新型コロナウイルス感染症については、文科省や県教委のガイドラインに沿い、感染症の予防対策を徹底した。	今後も医療機関や家庭と連携し、生徒が持つ基礎疾患等の管理に努めるとともに、流行性の感染症等については、常に流行状況や具体的対応、処置方法等の情報を提供、共有し、家庭との連携を図りながら、生徒の健康や体調の管理に努めたい。また、予防対策等で必要な物品については、事務部と連携し準備を進めたい。
		⑬健康診断終了後、受診が必要な生徒の受診率が80%以上である。	保健指導	B	B	B	受診勧告書や保護者面談で受診を勧めた結果、心臓病などのハイリスクな疾病を持つ者は、全員が医療機関を受診し、医師の指導を受けることができた。また昨年度は、新型コロナウイルス感染症流行で低下が顕著であった歯科治療勧告者の受診率が、例年並みまで回復した。	医師・保護者と連携しながら、引き続き疾病管理や体調管理に努めるとともに、将来につながる健康維持管理のための保健指導等を充実させたい。特に歯科については、歯科疾患の治療を推進していくとともに、それと並行して予防歯科の観点から歯科衛生指導をより充実させたい。
	7 危機管理体制が確立され、緊急時への備えができていますか。	⑭危機管理マニュアルをもとに、緊急時の対応策（避難訓練）を年3回以上実施している。	安全対策	B	A	A	災害時の対応組織や避難時の応援態勢、避難経路等を見直し、それにもとづき各種避難訓練を計画通り実施することができた。	避難訓練の実施にあたっては、訓練の内容や方法を一部変更するなどマンネリ化を防ぐとともに、実際の状況に即した訓練となるよう工夫を重ねたい。また、今後は避難訓練だけでなく、事前・事後指導等で活用できる各種防災教育資料等の充実も図りたい。
		⑮危機管理に関する職員研修を年3回以上実施している。	安全対策	A	A	A	緊急事態発生時の迅速な対応のため、救命講習（日本赤十字社と連携）、医ケア対象生徒の緊急時対応訓練（通報搬送訓練）、不審者侵入時対応訓練（太田警察署と連携）を実施した。	今後も関係諸機関との連携を図り、危機管理に関する職員研修の実施と充実を努め、生徒の安全確保及び迅速な緊急対応が図れるようにしたい。
V 将来の生き方に結びつく進路指導を行っていますか。	8 キャリア教育の視点から、指導内容を整理して系統的な指導を行っていますか。	⑯進路学習について、進路講演会等を年5回以上実施し、保護者の90%以上が満足している。	進路対策	B	A	B	進路講演会や各種体験研修など、情勢を見極めつつ時期や形態を工夫して行った。学年主任会や日常の情報交換に心がけ、学年間の情報共有を随時行えるように努めた。キャリアパスポートの活用を図った。	昨今の情勢を見ると、進路講演会や各種体験研修など実施することが困難であった。例年行っている講演会や体験研修の内容を見直し精選することで、より充実した学習になるように努めるとともに、臨機応変な対応が求められる。学校行事予定を参考にしながら、計画立案の段階から実施時期の状況を予測し、計画していくことが望ましい。キャリアパスポートの充実を図る。
		9 保護者、関係機関との連携のもとに発達段階に応じた進路指導を行っていますか。	⑰進路先や関係機関との連携について、保護者の90%以上が満足している。	進路対策	B	A	B	市町村における支援協議会等が未開催であったり、減少傾向であったりするが、電話や電子メールなどで情報交換できるように努めた。7月と2月に企業採用担当者学校見学会を予定していたが、中止せざるを得ない状況となり、企業への障害者雇用への理解および啓発の機会を失ってしまった。